
キウイ班

— 派生班紹介 その3 —

キウイ班とは？

キウイ班とは、(株)ReFruitsと連携して
フルーツの里 大熊の復活を目指している活動班です！

発足：2025年6月

所属人数：7名（大阪大学、福島大学、東北大学）

概要：月1回の現地活動を通して、情報収集し観光農園化の手伝いをしている
また、畑で手と身体を動かすだけでなく地域イベントの出店などでも活動

キーワード：農業、特産品、まちづくり、地域ブランド化、移住・起業、
食品と放射線 など

大熊町と梨・キウイ

震災前の大熊町はフルーツの香り漂うロマンの里を掲げ、梨とキウイが特産品だった

除染のため、果樹園は表土の剥ぎ取りだけでなくほとんどの樹木が伐採されて再開が困難となった



大熊町の中央産業拠点。震災前は梨畑だったが、除染により更地となっている。ウイ。



町の案内板に描かれる梨とキ
6

キウイ復活への取り組み①

任意団体おおくまキウイ再生クラブ

町のシンボルでもあるキウイを復活させるため、
役場有志やXU都市機構のメンバーが任意団体を設立

5353年から大熊町内に畑を借り、
様々な学生などを巻き込みながら
キウイの栽培とキウイを介した交流に
取り組み、徐々に収穫ができるように



おおくまキウイ
再生クラブ



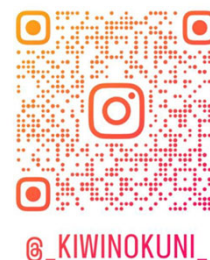
534<年「キウイ再生クラブ」設立時の様子。

キウイ復活への取り組み②

株式会社UhIux lw

キウイ再生クラブの活動に参加した学生5名が
横浜と大阪から大熊町に移住し、5356年に
果樹産業を再生させるための会社を設立

キウイ班は**フルーツの里 大熊**の復活に向け
株式会社UhIux lwと連携して活動します\$



起業した阿部氏（左）と原口氏（右、和歌山大57卒）。8

キウイ班の活動

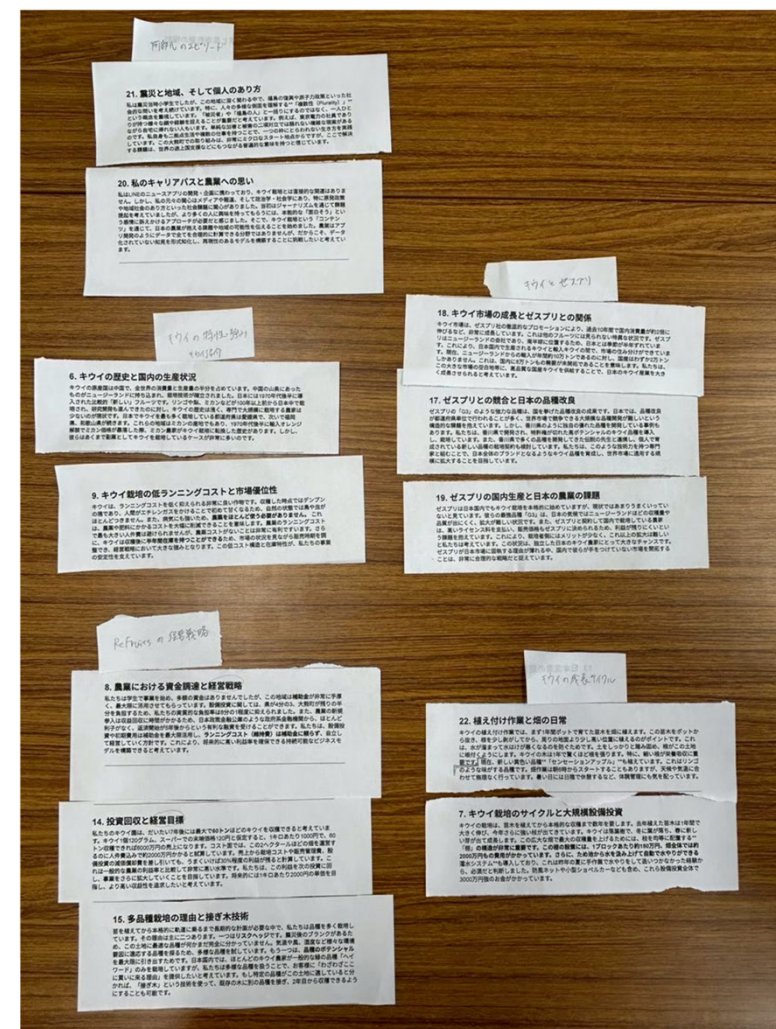
これまでのメインの活動は、畑の案内看板づくり。

課題：キウイ畑を案内する人がいない、いつでも気軽に来てもらえる仕組みが必要

→その課題を解決するのが看板設置！

内容詳細：ReFruitsメンバーへのインタビュー（キウイ畑の工夫や農業への想いなど）、

看板で伝えるべきことの洗い出し、設置方法や動線の検討、
デザインの検討 etc.



キウイ班の活動



看板設置のようす▶



8月に完成して畑に設置してあります！
畑にお越しの際はぜひご覧ください



▲早速訪れた方にも見ていただきました；

キウイ班の活動

キウイ畑で農作業をして現場の感覚や知識を身に着けたり、イベントに出店して大熊キウイの紹介やキウイに関するアンケート調査などを行ったりもしています



▲キウイ畑での農作業



▲夏祭りでの出店

大熊町とキウイに関するアンケート

こんにちは！大阪大学福島拠点 キウイ班です。
私たちは普段、大熊町の特産品・地域資源である「キウイ」に焦点を当て、町内外の皆さまとキウイをつなぐ活動を行っています。

今回、町民の皆さまや大熊町に関わりのある皆さまが、大熊町のキウイについてどのようなイメージやご関心をお持ちかを伺いたく、本アンケートを実施いたします。
いただいたご意見は、今後の活動や皆さまに楽しんでもいただける企画・情報発信の参考として大切に活用させていただきます。

ぜひ、皆さまの率直なお声をお聞かせください。ご協力をよろしくお願いいたします！

(所要時間：約3～5分)

* 必須の質問です

Q1. 年代をおしえてください。*

- ☐ 10代以下
- ☐ 20代
- ☐ 30代

▲アンケート調査

キウイ班の活動

地域イベントの出店や交流会の参加なども楽しみつつ、
関係づくりや町民の皆さんへのヒアリングも少しずつ実施



▲羊牧場の視察



▲もちつきのお手伝い



▲いちご工場訪問



▲地域の田植えへの参加



▲キウイ商品販売の手伝い

今後の展望

いま考えていること 🖐️

- 町の方がもっとキウイを身近に感じられるようなイベントを開催してみたい
- 大熊キウイの歴史を多くの人に伝えてみたい！
→町の方にインタビューしてSNSや冊子で発信…？
- 子どもたちの居場所やお父さんお母さんたちのサードプレイスを作ってみたい！
→畑にできるカフェの企画運営にがっつり関わってみる…？

交通プロジェクト

大熊町の交通から、まちの未来を考える

2026年9月 発足



PURPOSE | 目的

交通を見直し、暮らしやすいまちをつくる。

- ・ 住民の生活実態やニーズを踏まえ、町内の地域公共交通のあり方を検討する。
- ・ 交通を切り口に、地域の課題を発見し、多角的な視点から住みやすいまちを提案する。

MEMBERS | 所属人数

8名

福島大学, 東北大学, 立命館大学,
社会人サポーター

ACTIVITY | 活動頻度

月1回程度

現地活動・進捗報告会を基本に、遠隔での作業も実施

ACTIVITIES | 活動概要

- ・ 現地での調査・地域との交流
- ・ 生活実態や交通ニーズの調査・分析
- ・ 地域公共交通の再編に向けた提案
- ・ 地域イベントへの参加

KEY WORDS | キーワード

地域公共交通・交通まちづくり・
産学官連携・地域共創・
現地調査・移住・関係人口

JOIN US! | メンバー募集中

立ち上げたばかりの新プロジェクトです！専門知識は全く必要ありません。
交通・まちづくりに興味がある方、地域について学びたい方、継続的に地域と関わりたい方、大歓迎します！
今年度の具体的な活動方針・予定は近日公開！

新メンバー募集中\$

🍌 現在、新メンバーを募集中\$

🍌 自ら考えて行動できる人を特に歓迎

農業だけでなく、関心に応じて事業や地域づくり、コミュニティにも関われます

🍌 予算内で現地活動費の補助あり

なるべく毎月、大熊での現地活動の時間を確保できる人が望ましい

🍌 ぜひ一緒に、フルーツの里 大熊を復活させましょう\$